

### 令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

#### 記

#### 1. 申請団体情報

##### 1-1. 申請団体

団体名	高知県			代表者名	濱田 省司
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総合企画部デジタル政策課	連絡先電話番号	088-823-9650
担当者役職	主査	担当者氏名	安達 和哉	連絡先E-mail	
住所	780-0870 高知県高知市本町4丁目1番16号(高知電気ビル別館7階)				

##### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名		連絡先部署		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

##### 1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修(複数団体)	事業名	市町村DX推進アドバイザー事業		
概要	標準化・共通化にかかる移行計画の策定支援および課題に関する相談を含む研修				
支援を求める分野	人材(DX推進のための機運の醸成) 自治体システム標準化・共通化				

#### 2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	200	令和6年11月7日	講演	実地
	派遣日予定日(申請書より)	支援内容(申請書より)	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)
	令和6年11月15日	支援・助言(実地)	13時00分	17時30分	
				活動時間(分)	270
2-2. 派遣場所	会場名	同上	最寄駅	同上	
	所在地	同上	最寄駅からの交通手段	同上	

#### 3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	前田 みゆき
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	Fit&Gap分析の進め方について住民基本台帳業務のうち、職員がイメージをしやすい業務をいくつか選んだうえで、市町村職員の目線で、だれが、何をどのようにして対応策を検討すればよいのかをわかりやすく解説いただいた点。また、高知県全体で精査が遅れている移行計画の作成について引き続き啓発をしていただき、意識改善を図っていただいた点がよかった。
アドバイザーへの要望事項	【次回の内容について】今回の研修会で触れていただいた業務フローの変更や帳票の廃止に伴う課題整理について、引き続き次回以降の研修でも具体的に掘り下げていく必要があると感じた。

#### 4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	合計人数	33人		
	属性	自治体職員	住民	企業・団体	その他(学生など)
	人数	29	0	4	0

##### 4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的に記入下さい)	標準化に際し今後必要な移行計画書の策定および管理や、システム標準化・共通化を契機としたBPRの推進について、市町村によってバラツキが見られ、十分に進んでいない。
支援により目指す成果(具体的に記入下さい)	担当者が自治体DXを進める上でのシステム標準化の意義と標準システム移行完了までの必要な作業を理解し、移行計画の詳細化および適宜必要な作業をスムーズに行うことができ、標準化のスケジュール管理をすることができる。また、システムの標準化の意義を正しく理解し、適正な形で経費の削減等を行うことで、新たな地域DX施策を推進し住民サービスの向上につなげる。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	移行計画の確認・詳細化について Fit&Gapの対応策の検討方法について	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	移行計画やFit&Gapの作業について、市町村の情報担当課・原課が具体的にどのような作業を行えばよいのかを確認することができた。特にFit&Gapの対応作業については、同ベンダー間であっても、県内市町村によって進捗がばらつきあることが分かり、今後の市町村に対する働きかけの参考となった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	業務フローの変更や帳票の廃止に伴う課題整理について、今回は住民基本台帳業務を例に掘り下げを行った。原課の業務が分からない電算担当者でもイメージしやすい業務でFit&Gapを検討し対応策の考え方・進め方のノウハウを学ぶことで、ほかの業務での検討をイメージしやすくなる狙い。しかし、今回の研修1回だけでは十分とは言い難い面もあるので継続して啓発を行うこと、また、市町村間での情報共有が必要であると感じている。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講習後アンケート調査を実施しており、現在集計中。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	①予算は確保済みであり、年度内に推進する 今回の事業を用いつつ標準化全体の移行に関し県として適切にフォローアップを行っていく。また、高知県市町村DX推進アドバイザー事業の活用なども含めきめ細かく情報収集していく。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	担当者が自治体DXを進める上でのシステム標準化の意義と標準システム移行完了までの必要な作業を理解し、移行計画の詳細化および適宜必要な作業をスムーズに行うことができ、標準化のスケジュール管理をすることができる。また、システムの標準化の意義を正しく理解し、適正な形で経費の削減等を行うことで、新たな地域DX施策を推進し住民サービスの向上につなげる。	

5.報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可  掲載可  掲載不可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

**なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください**

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真 (JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

